

## 検証意見書

2016年6月17日

第一三共株式会社

代表取締役社長 兼 CEO 中山 譲治様

## 検証目的

SGSジャパン株式会社(以下、当社)は、第一三共株式会社(以下、組織)からの依頼に基づき、組織が算定した温室効果ガス排出量(以下、GHGに関する主張)について、ISO14064-3:2006(以下、検証基準)に基づいて検証を実施した。

本検証業務の目的は、組織の対象範囲にかかるGHGに関する主張について、判断基準に照らし適正に算定・報告されているかを独立の立場から確認し、第三者としての意見を表明することである。

## 検証範囲

検証対象範囲は、第一三共グループの国内製造及び非製造14拠点であり、対象期間は2015年4月1日～2016年3月31日)である。温室効果ガス排出量は、Scope1,2、Scope3(カテゴリー1)を対象としている。

## 検証手順

本検証業務は、検証基準に則り、限定的保証水準にて次の手続きを実施した。

- 算定体制の検証：検証対象の測定・集計・算定・報告方法に関する質問、及び関連資料の閲覧
- 定量的データの検証：第一三共プロファーマ株式会社平塚工場、第一三共ケミカルファーマ株式会社小田原工場及び第一三共本社ビルA館/B館の現地検証及び証憑突合、その他検証対象範囲に対する本社における分析の検証及び質問

判断基準は、環境省の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver4.0)及び組織で定めた基準を用いた。

## 結論

前述の要領に基づいて実施した検証手続の範囲において、組織のGHGに関する主張が、判断基準に従って、算定及び報告されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

SGSジャパン株式会社

認証・ビジネスソリューションサービス事業部長  
上級経営管理者

竹内 裕二

